

第 22 回生命科学セミナー

ショウジョウバエの性行動の遺伝解析

日時: 2014 年 4 月 28 日(月曜) 14:40 より

場所: 講義棟 402 号室

演者: 山元 大輔 教授

東北大学大学院生命科学研究科

山元先生は、動物行動の遺伝学の第一人者です。

興味あるお話が聞けるとおもいます！

論文:

[Btk29A promotes Wnt4 signaling in the niche to terminate germ cell proliferation in *Drosophila*.](#)

Hamada-Kawaguchi N, Nore BF, Kuwada Y, Smith CI, **Yamamoto D.**

Science. 2014

[Fruitless recruits two antagonistic chromatin factors to establish single-neuron sexual dimorphism.](#)

Ito H, Sato K, Koganezawa M, Ote M, Matsumoto K, Hama C, **Yamamoto D.**

Cell. 2012 Jun 8;149(6):1327-38

[Fruitless specifies sexually dimorphic neural circuitry in the *Drosophila* brain.](#)

Kimura K, Ote M, Tazawa T, **Yamamoto D.**

Nature. 2005 Nov 10;438(7065):229-33.

著書:

『遺伝子と性行動:性差の生物学』(裳華房、2012 年)

『恋愛遺伝子』(光文社、2001 年)

『行動を操る遺伝子たち—本能と学習の接点をさぐる—』(岩波科学ライブラリー、1997 年)

『ブレインサイエンス最前線'95・ニューロンの発生運命決定機構の分子生物学』(講談社サイエンティフィック、1994 年)



雄を追い払う *spinster* 変異体雌

生命科学セミナーは、堅苦しくないことを合言葉に、小規模で何でも聞ける、その場で質問できる、気軽な、自由参加の勉強会を目指しています。

世話人: 八田公平、中川将司